

平成 25 年度 第 8 回

日南市教育委員会

会議録

平成 25 年 10 月 21 日(月)、午前 9 時 00 分から
日南市役所・南別館 2 階会議室

1 会議の名称 平成 25 年度教育委員会 第 8 回会議（定例）

2 会議日時 平成 25 年 10 月 21 日（月）、
午前 9 時 00 分から午前 10 時 30 分まで

3 出欠確認

（１） 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 八木真紀子
松野蓮香 黒木康英

（２） 事務局 教育次長 村角昌宏
学校教育課長 倉元保久
学校教育課教育専門対策監 津曲文男
学校教育課長補佐兼管理係長 中川貴登
文化生涯学習課長 岡本武憲
スポーツ推進課長 早田秀穂
学校教育課指導主事 柚木山尚未
学校教育課管理係主査 瀬田順司

4 場所 日南市役所・南別館 2 階会議室

5 傍聴者 1 名

6 開会

【迫元委員長】

「本来なら 8 日に開催する予定でしたが、台風の影響で延期になりました。今週末も九州に台風が近づいていて、全国的にも大きな被害が出ていることから心配しているところです。

運動会では、それぞれの学校への参観お疲れ様でした。

運動会当日は、雨のために予定通り開会が出来ない学校が多くて、学校のほうも大変だったと思いますが、PTAの方々が開会に向けて、朝早くからグラウンド整備等、協力をしている姿を見て感動したところです。

この時期は、自然災害が多い時期ですのでお互いに気つけていきたいと思えます。

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、全員出席です。（傍聴者 1 名）」

【村角教育次長】

「本日は、事務局全員出席です。」

8 活動報告

（１） 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 9 月 9 日、平成 25 年第 6 回市議会定例会本会議です。補正予算や条例改正案、報告議案等の上程がなされたところです。
- ② 9 月 10 日、議会定例会本会議 2 日目です。
この日は、市長提案に対する質疑が主な内容でした。
教育委員会関係では、将来を担う次世代育成事業について、質問がなされたところです。詳細については、後ほど報告があります。
- ③ 9 月 15 日、南郷中学校は、延期になりましたが、私の方は、飢肥中学校、東郷中学校、細田中学校の体育大会を参観してきました。
台風の影響で非常に風が強く、どこの学校も十分に風対策を行いながら、それぞれ特色のある体育大会が開催されたと思います。
- ④ 9 月 17 日、延期になっていた南郷中学校の体育大会を参観しました。
平日のため、観客が少なかったようですが、生徒達は、日頃の練習の成果を精一杯出していました。
- ⑤ 9 月 19 日、議会の一般質問の第 1 日目です。この日は、教育委員会関係の質問は、ありませんでした。
- ⑥ 9 月 20 日、議会の一般質問の第 2 日目です。教育委員会関係は、通学路の安全確保、トイレの環境整備、全国学力学習状況調査の結果の分析と公表、油津中学校の津波発生時の避難、自転車事故の対応、伝統文化芸術伝承等について、質問がありました。
- ⑦ 9 月 24 日、議会の一般質問の第 3 日目です。教育委員会関係は、施設の整備充実、交通安全指導、あいさつプラス運動、犯罪の起きにくい社会づくり、将来を担う次世代育成事業、めざせ小村寿太郎国際塾の今後について、質問がありました。
- ⑧ 9 月 25 日、議会の一般質問の第 4 日目です。小中一貫校の成果、課題、子育て低

所得世帯への補助の新設、フッ化物洗口、平和学習、平和行政等について質問がありました。

- ⑨ 10月1日、赤い羽根共同募金の募金開始式に出席しました。

開始式終了後、始業時募金で市役所の各課に募金をお願いに回りました。

- ⑩ 10月2日、議会定例会本会議の最終日でした。

- ⑪ 10月3日、ふれあいコミュニケーションの第1次の打ち合わせに中川補佐と南郷中学校に行ってきました。

詳しい内容については、後ほど、報告をしていただきます。

- ⑫ 10月6日、吉野方小学校、桜ヶ丘小学校、大堂津小学校、潟上小学校の運動会を参観してきました。

当日は、台風23号の影響で開会時刻が遅れた関係で参観の予定も変更しなければならぬ状況でした。

最後の潟上小学校に着いたのが14時前で、その時には、競技が終了していて、閉会式のための参観になりました。

雨で、コンディションの悪い中、子ども達は、精一杯がんばっていました。

- ⑬ 10月8日、日南市の表彰審議会に出席しました。

市政振興に功績があった方の選考にあたりました。

この表彰式は、11月3日の予定です。

- ⑭ 10月13日、第5回日南市民体育大会の総合開会式に出席しました。

35団体の選手の皆さんが堂々の入場行進をされました。

総合開会式の後、13、14日を中心に各会場にわかれて、競技がなされました。

- ⑮ 10月16日、市の男女共同参画社会講演会に出席しました。

講師は、オフィスピュア代表のたもつゆかりさんという方で、「誰にも居場所と出番のある男女共同参画社会の実現をめざして」という演題でした。

内容は、男女共同参画社会基本法の背景や必要性、地域づくりと男女共同参画について等、多方面にわたっての講演の内容でした。

- ⑯ 10月18日、市町村教育委員会の教育委員と県の教育委員との意見交換会、情報交換会に八木委員と出席しました。

意見交換会は、「市町村教育委員会の特色ある取り組みや役割、あり方について」及び「今後の市町村教育委員会のあるべき姿について」というテーマで行われました。

市町村教育委員会のあるべき姿については、県教育庁総務課から説明がありました。

特色ある取り組みについて、日南市では、昨年度から「特色ある教育委員会」を目指して、教育委員会改革を行いましたので、このことを紹介いたしました。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

- ① 9月4日、県南産業フェスタ実行委員会に出席しました。

10月25、26日に開催される県南産業フェスタについて、全体的な説明がありました。

私の方は、工業高校の生徒達の研究発表等も行われるので、各日南市内の小中学校の校長先生にキャリア教育の一環として、是非、生徒達を参加させてくださいと案内をしました。

案内した結果、吾田中、東郷中、油津中、吾田東小、桜ヶ丘小、鵜戸小中学校の6校が見学することになりました。

25日にかなりの生徒が会場で発表や展示物が見学できるのではないかと思います。当日は、シャトルバスで児童生徒を送迎する予定です。

- ② 9月5日、文化生涯学習課関係の協議を行いました。

- ③ 9月9日、吉野方小学校活性化会議に出席しました。

地域の方が集まっていたき、今後の取り組みについて、話し合いました。

- ④ 9月10日、議会定例会が始まりました。

先ほど、教育委員長が説明されたとおりです。

- ⑤ 9月11日、学校改善プロジェクトに出席しました。

内容については、いろいろなことが話題になりましたが、ひとつ大きなものを言いますと、学校独自で計画をたてて、行っている研究の今後の在り方について話し合いました。

今までは、各学校の順番制で研究発表を行っていましたが、基本、研究というのは、自分達がやったことを自分達が発表したいという気持ちになったときに研究発表するのが理想的な形だと思います。

順番制については、26年度で止めて、その後は、自ら手を挙げた学校や他校からの推薦などの形態に変えるという方向性でまとまりました。

研究報告についても、毎年、冊子を作成していましたが、時間と労力が非常にかかります。

例えば、3年計画で研究する場合は、最終年で冊子を作成していただいて、それ以外の年には、簡単な報告書を作成していただければいいと考えています。

その報告書で研究主任と教育委員会の指導主事と一緒に1年間の研究について、振り返り、次年度のためにミーティングを行う形に変えたいと思っています。

直接、指導主事が研究の中で指導が出来るような場面を作り、計画的に研究が進むような形にすることを提案しました。

- ⑥ 9月12日、熊本県人吉市で行われた高濱正伸先生の講演会に参加しました。

高濱正伸先生がおっしゃられたのは、自然の中で育った子どもほど、後々、いろいろな場面で能力を発揮するそうです。子どもの脳を鍛えたければ、自然の中で、精一杯、遊ばせなさいという話でした。

都会の子ども達は、英語が出来る子が多い。田舎の子どもの中には、ものすごく数学に秀でた子がいる。それは、空間の中で遊びをとおして育っているのです、体に染みついた数学的発想が豊になっているからということでした。

この講演を聞いて非常に共感しました。

是非、この講演会を日南市でも実施して、出来るだけ低学年の子ども達の保護者に話を聞いてもらいたいと思いました。

校長会や教頭会になんとか 400 人～500 人程度集れないかと話をしているところです。

⑦ 9 月 22 日、小中学校の運動会に出席しました。

⑧ 9 月 26 日、北郷小中学校のランチミーティングに出席しました。

初めての試みで、子ども達の反応はどうかと思っていたら、非常に明るくて、特に、市長の方は、3 年生の教室で笑いが絶えないランチミーティングになりました。

その後、榎原中学校にも行ってきました。

今度は、東郷中学校を計画したいと考えています。

⑨ 10 月 2 日、鬼東氏が来庁され、教育委員会の方に教育機器を寄贈して頂きました。寄贈して頂いた教育機器は、各学校に配分することになりました。

⑩ 10 月 3 日、校長ヒアリングを行っています。

内容は、校内の実情について、人事も含めて、校長一人一人と約 40～50 分の時間をかけて、ヒアリングを行いました。

全学校、全てヒアリングが終了したところです。

⑪ 10 月 5 日、くろしお同窓会に出席しました。

初めて参加しましたが、盛大な同窓会だと感じました。

⑫ 10 月 6 日、小学校の運動会に出席しました。

吉野方小学校が終了したのが、17 時でした。

雨の中、全ての競技を地域一体となって取り組んでいる姿に感動しました。

議会関係については、教育委員長が説明されたとおり、将来を担う次世代育成事業が質問の中心でした。

私もいろいろな勉強させていただいて、今後の事業の取り組みについて、どのような形でいろいろな質問に応えるかを検証しながらやっていきたいと思っています。

子どもの安全確保に関する質問も多数ございました。

この件については、校長会、教頭会で子どもの自転車の乗り方や保険の事、通学路や防犯ブザーのことは、命にもかかわることなので気を抜かず徹底してやっていきましょうと話しました。また、教育長室だよりもこの件は掲載しました。

全職員にも子どもの安全については、徹底してやらないといけないと呼びかけたところでは。

以上、活動報告を終わります。

(3) 八木委員の報告

① 10月18日、市町村教育委員会の教育委員と県の教育委員との意見交換会、情報交換会に参加しました。その時の感想を述べます。

意見交換会では、会に出席した教育委員全員と話すため、教育委員長と別なグループにいきました。

意見交換会で話したことは、日南市で取り組んでいる教育委員会の傍聴に関することについて発言しました。

グループの教育委員から日南市の取り組みについて、高く評価してもらいました。

情報交換会では、日南市にゆかりのある人が多くて大変盛り上がりしました。

その中には、10月に県の教育委員長に就任された齊藤和子さんもいらっしゃいました。

県の教育委員会では、なかなか子ども達の顔が見えないので、市町村の教育委員が小学校、中学校の現実を伝える義務があると感じました。

以上、報告を終わります。

9 前回の議事録承認

了承

10 議題について

議題1 「平成26年度 教育基本構想」(案)について

(教育長)

「平成26年度 教育基本構想」(案)について説明。

(委員長)

ただいま、教育長から説明がございました。

これが次年度の日南市の教育基本方針になってきます。

教育基本方針の決定については、教育委員会の重要な役割ですので、いろいろな角度からの意見等を出してください。

(八木委員)	大変素晴らしい案だと思います。 新時代を生き抜くというのは、非常に大事なことです。 先日、この会場で勉強会がありました。 その中で、講師の方がフェイスブックの使い方を教えてくださいました。 講師は、えびの高校と宮崎の附属小学校でも授業されていて、小学生の1クラスの内10人の子どもがフェイスブックをしている時代が来ていることを聞いて、驚きました。 日南市においても、今後このような状況に移行していくのかと思いました。 私達、大人も時代についていけないといけないと思いました。 また、自然から学ぶ力についても、非常に大切な事だと思います。 過去の定例教育委員会でも発言しましたが、日南市には、自然を学ぶ教材がありません。 この自然を学ぶ教材は、とても重要なので検討してください。 次にコミュニケーション能力育成についてですが、先日、福岡の劇団員さんと話す機会がありました。 福岡は、表現教育に力を入れていて、各小学校で10年以上前から行っており、結果に繋がっています。 方法としては、文部科学省に申請をすれば、講師を派遣してもらえます。 この表現教育を取り入れたらおもしろいものになるのではと思います提案します。
(委員長)	八木委員より提案がありました。今後、検討していただければいいと思います。
(教育長)	この件で教育長から何かありますか。 コミュニケーション能力育成についてですが、日南コミュニケーションスキルプログラムというものがあって、実際、小学校から中学校まで行っていますが、教材が学年の成長段階にに応じていない部分があり、見直しが必要ではないかと学校現場から意見が出ています。 学校も工夫しながらやっていますが、各学校の実情としては、学校現場に十分な教材がそろっていない状況があります。 現場の声を聞いて、内容を充実させないといけないと思っています。
(委員長)	先ほどの八木委員の表現力については、教師の指導力育成の面も含まれていますので併せて検討してください。
(藤田委員)	個々の事で申しわけありませんが、先ほど教育長の説明の中で聞け

	ばよかったのですが、小村寿太郎国際塾の関係で、今後の在り方について協議されたという事です、今年度は、希望者の方を全員受け入れて執行されていますが、そういった事も含めてどうかと思って聞きます。
(教育長)	この小村寿太郎国際塾については、基本的に継続してやりますが受け入れる体制の人員が十分ではありません。 今年のように 70 数名も応募した児童生徒を全部受け入れた場合、求めるサービスに十分に対応できません。 このような部分をどのように解決するかが課題だと思います。 やはり、人数は、ある程度、制限する必要があるのではないかと考えています。 今は、教育委員会に英語の指導主事が在籍しているから、この事業が回っていますが、今後、英語の指導主事が在籍していないとこの事業は回らないと思っています。
(松野委員)	今後、この事も非常に大きな課題だと思います。 特別支援関係の事は、スクールアシスタント派遣事業やカウンセラー配置事業に入ってくるとは思いますが、求める職員を集める時に、ものすごく校長先生が苦勞している現状があります。 契約期間を短期の条件で募集すると若い人を採用しようと思っても集まらない状況にあり人員確保に苦慮されています。
(教育長)	1 年を通して、常勤として支援していただければと思います。 実は、先ほど、校長先生のヒアリングの実施したことを説明しましたが、そこで 1 番話題となったのが、特別支援教育関係でした。 それは、特別支援学級にいる生徒ではなく、通常学級に入っている特別支援の必要な児童生徒の事です。 私も参観しましたが、先生が苦慮されている姿が見受けられました。 今、市が独自に雇用している非常勤講師が北郷小中学校は、別として、小中学校に 9 名、小学校に 6 名の計 15 名います。 その他にも支援員という形で入っています。 そのような講師を今後どのような形で任用していくか、工夫が必要だと考えています。 それで、どうしても特別に支援が必要な児童生徒がいる学校に市の非常勤講師を充てようと思います。 要するに通常学級に入っている子ども達は、通常の学習を保証しなければなりません。 結局、そこにもう 1 人入る事によって、学級を飛び出すような手の

(委員長)

かかる子ども達の指導ができるようになり、学力の向上や特別支援の必要な子ども達の支援にもつながります。

このことから、来年度の配置についても考慮しているところです。

私の方からですが、今後、何ヶ月もわたって検討されると思います
が、その参考となればということで考えてみました。

まず、この構想図の位置づけですが、この構想図では、内容に関する部分がほとんどですが、構想図を見て、学校教育課の状況が分かるように出来ないかなと考えました。

また、教育委員会の学校教育課以外の他の課もこのような構想図みたいなものが出来ないか考えました。

今後、検討してもらえればと思います。

もう 1 つは、この構想図で、内容は、よく理解できましたが、この構想図を見た時に目指す子どもの姿が下にきていますが、これは、上に持ってきたほうが良いと思います。

順番的に日南市の教育は、このような事をしますという視点があり、その下に、この教育でこんな子どもを育てるという目指す子どもの姿がきて、そのために、市と学校はどうするのかという手段の部分がきたほうが良いと思います。

内容の市の事業の中で、先ほど教育長のほうからも、この構想図に健康安全とかまだ入っていませんと説明がありましたが、私のほうも内容面で考えてみました。

今後、健康安全や特別支援、食育などの内容を柱の中に入れていただければと思いました。

下のほうに教育環境の整備充実、小中一貫・連携の教育システムの改善、教育支援体制の整備・充実という文言を付け加えました。

教育環境の整備充実とは、学校教育課の施設営繕係が担当する部分、教育支援体制の整備・充実というのは、先ほど、松野委員から発言のあった人的な整備とかいろいろな支援も含めて教育支援する部分です。

このようなことを構想図に示しておくとう教育委員会の仕事が分かると思います。

小中一貫・連携の教育システムの改善というのは、適正配置化基準について、答申も出されていますので、このようなシステムで進めていますと述べておくとう全体が見えると思います。

構想図の左右には、学校教育課だけではなく、他課と地域関係機関との連携を図りながら進めていきますという意味で記載したところで

(教育長)	す。 できれば、教育委員会の他の課でもそれぞれの目標とか事業とかあると思いますのでこのようにまとめられると説明しやすいと思います。 今後、検討していただければ、ありがたいと思います。 教育委員長がおっしゃった事は、私も思っていた事でした。 学校教育課と他課との関連については、記載しておく必要があったと思いました。
(委員長)	教育委員長が修正された「平成26年度 教育基本構想」(案)について、参考にしたいと思います。 質問ですが、小中一貫・連携の教育システムの改善のところで、教育システムは、どのようなことを想定すればよろしいでしょうか。 基本的に日南市は、小中一貫教育を進めています。 各学校の個別の学級数が減ってきた部分については、適正配置化基準に従って考えると日南市学校活性化推進委員会の答申が出されています。
(委員長)	この答申に従うことを構想図に位置づけするというものです。 今後、検討されて、時間をかけながら進められると思いますので、定例教育委員会事に進捗状況を確認しながら、検討を進めていきたいと思います。

報告 1 第 6 回日南市議会定例会の報告について 【村角次長】
 第 6 回日南市議会定例会の内容について説明。

報告 2 全国学力調査の結果等について 【柚木山指導主事】
 全国学力調査の結果等について説明。

報告 3 ふれあいコミュニケーションの開催について 【中川補佐】
 ふれあいコミュニケーションの開催について説明。

1 1 その他

- (1) 1 1 月行事予定について
別紙参照

- (2) 第 9 回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 平成 2 5 年 1 1 月 1 2 日(火)、午前 1 0 時から
- ② 場所 日南市役所 南別館 2 階会議室

1 2 閉会

会議録を調整し署名する。

平成 年 月 日

教育委員長

教育委員長職務代理者

教育委員

教育委員

教育長
